

## 「おじいちゃんのたいけんだん」

宇多津北小学校 3年 鎌田 朋佳さん

とくしまに住んでいるわたしのおじいちゃんに、聞きました。

今から十年くらい前のことです。おじいちゃんの所で、夏の間、七回も台風が来たことがあったそうです。家の外に出てみると、目の前が見えないくらいの大雨がドサーッとふっていました。おじいちゃんは、育てているシンビジュームのハウスに水が入ってこないように、たまった水を水ろをほって別の場所に流しました。そして、ハウスの中のたなの上においた小さなえを高い所に運び出しました。ハウスの上にはあってある黒いネットは風でやぶれてしまいました。たなの上にならべてある大きなはちもひっくりかえってしまいました。

家の前を流れている川は、どんどん水がふえてきて、みるみるうちにはしがつかり、人も車も通れなくなりました。しょうぼうだんの人たちが通行止めのかん板を立てて、川の水をせきとめるために土のうをつんで見はりをしていたそうです。

おじいちゃんの家よりも、もっと山の方に家がたっている人は、うらにある大きな木がくずれてきて、家の屋ねにぶつかって穴が開きました。おじいちゃんたちがシートを持って行って穴をふさぎました。家の中には水が入ってきてぬれてしまいました。わたしは、おじいちゃんがこんなこわい体けんをしていると思いませんでした。もし、土しゃさいがいがおこったら、とてもこわいと思いました。

おじいちゃんの近所の話です。

大雨がつづけて何日もふったことがあったそうです。山の土がゆるんでしまい、みかん畑はくずれてしまいました。そして、下にある小さな谷に土しゃがつまり、谷のどろ水があふれて、ふもとにある家の庭に入ってきてしまいました。しょうぼうだんの人たちや、近所の人たちがみんなで水をかき出しました。一生けんめいがんばったので、人の命は大丈夫だったけれど、みかん畑はなくなってしまいました。今度、大雨がふると大へんなことになります。そこで、国や県にたのんで、一年くらいかかって、すなやどろをふせぐさぼうダムを作りました。そのあとは、土しゃさいがいはおこっていないそうです。

わたしはおじいちゃんの話をついて聞いて、わたしの知らないこわい目にあつたけれどみんなで力を合わせてのりこえたんだなあと思いました。

たくさんの方が、とてもこわい思いをしているので、これからは、土しゃさいがいがおきなかったらいいと思います。そして、これからはずっと日本が平和な国でいてほしいです。